



志木四小だより

志木市立志木第四小学校

志木市館1-4-1

平成28年度 2月号 キーワード「信頼と絆」

TEL 048(474)7911

ちいき かがや えがお
地域とともに輝くひとみ・笑顔あふれる志木四小

笑うから幸せになれる

校長 川崎 善一

今年の冬は、例年になく強い寒気が日本列島を覆い、連日、大雪のニュースが報道されていますが、節分、立春を迎える2月となりました。学校の花壇にもスイセンの花が咲き、梅のつぼみも膨らんで、少しずつ春が近づいてきているのを感じます。本校ではインフルエンザによる学級閉鎖を行いました。インフルエンザの流行が心配されますが、体調管理に気を付け、元気いっぱいの2月にしてほしいと思います。

さて、テレビを見ていると笑顔に関するCMがありました。CMは映像と一緒にテロップが流れていました。その中に「子どもは1日平均400回笑う」「大人になると15回にへる」という言葉がありました。それを見て、少し「笑う」ことについて興味をもちました。5歳児は1日、300回から400回笑うそうで、大人になり、年を重ねるほどに笑う回数は減るそうです。「笑う門には福来る」や「笑いは百薬の長」などのことわざは昔から知られています。笑うことは様々な形で笑っている人に幸せをもたらし、よく笑っている人は長生きをし、病気になりにくく、友人関係もうまくいき、笑っていない人よりもずっと満足しているともいわれます。確かに笑うことは、体にも心にもよさそうな感じがします。笑顔や笑いがもたらす効果は想像以上に大きいのではないかと思えてきました。そして、自分自身を振り返りると、大人の笑う回数の平均を下げているかもしれないと心配になりました。

学校では、児童の笑顔に教職員はいつも元気をもらっています。逆に、先生の笑顔は児童に安心感を与えます。「幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになれる」という言葉もあります。日々の生活の中では、笑えないような状況も多々ありますが、児童と接するときは、笑顔でいることを意識しようと改めて思いました。ご家庭でも子供の笑顔は宝物だと思います。子供の勉強や体調の様子を気にすると同様に、家庭での生活の中で、我が子は笑っているかな、家族と一緒に笑っているかなと、笑いを通して我が子の心の状態をチェックしてみることも面白いと思いました。

平成28年度も残すところ2ヶ月となりました。児童が笑顔で卒業・進級できるように学年のまとめを行い、一人一人の児童をしっかりと見守っていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様引き続き温かいご支援とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

おもちゃフェスティバル

1月23日(月)、2年生が幼稚園や保育園の園児を招いておもちゃフェスティバルを開きました。2年生が作ったおもちゃを園児に紹介し、実際に遊んでもらいます。2年生はお兄さんお姉さんらしく優しく園児におもちゃの説明をし一緒に遊んでくれました。2年生にとっても園児にとっても楽しく有意義な時間にする事ができたと思います。

